

令和6年度中宇治地域市民協働推進拠点整備に向けた取組について

令和6年1月に策定した基本ビジョンを踏まえ、市民参画・市民協働によるモデル的な取組やワークショップを実施し、具体的機能や公民連携の可能性などの検討を深め、中宇治地域市民協働推進拠点の整備構想を策定する。

1. 取組内容

①モデル事業の実施

菟道ふれあいセンター敷地や周辺の施設にて基本ビジョンワークショップ参加者をはじめとした市民・事業者・大学等の連携によって、拠点として必要とする機能を具体化するモデル事業を実施する。

※ 運営：菟道小コミュニティスクール、基本ビジョンワークショップ参加者、まちのリビング補助事業者との協働を想定

②市民ワークショップの開催

モデル事業を踏まえて、拠点を中心としたまちづくりと具体的な施設内容を考える。

※ 参加：市内在住・在勤・在学者
(中宇治地域の住民優先、多様なつながりを重視)

③公民連携の可能性調査

民間事業者からのアイデアを通じて拠点施設とまちのつながりを考え、整備や運営における民間活用の可能性を検討する。(アンケートや対面での意見聴取などを検討)

2. 事業を進めるにあたって

市民協働推進拠点としての機能を具体化し公民連携の可能性調査を踏まえた整備構想を策定するにあたっては、その支援業務を委託することとし、公募型企画提案による募集を行う。

なお、募集にあたっては、公民連携による公共施設整備に関する事業の実績や市民参画・市民協働による上記に類似したモデル事業や市民参加型ワークショップの実績などを条件とし、できる限り、幅広い提案を受けられるようにする。

3. スケジュール

支援業務の公募…4月17日募集開始、5月に選考の上決定

モデル事業・市民ワークショップ…7月下旬～10月上旬(予定)

公民連携可能性調査…7月下旬～12月下旬(予定)